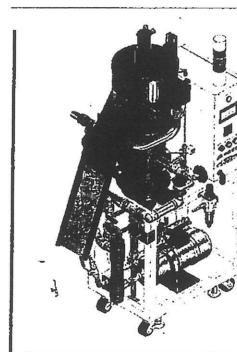


2020.1.10(金)



中部電など

トメ機器(天津市)、田浩智(同)によれば、自動車工場などで洗車装置(初期充液コストを大幅に削減できる装置を共同開発したと発表した。「ファンブル」と呼ぶ

の泡を生成し、使用済みの洗浄液、切削液に混ざり合わせるといいで、泡に付着した液中の不純物を表面に浮上させ、効率的に除去する。不純物のろ過で使うシリルターや長寿命化や掃掃回数の低減につながり、管理コストを半減できる」と実証試験で確かめた。

両社は超高速ファインブル浮上分離装置

洗净液、安価に再利用

のろ過に使う  
—は高頻度の  
を必要とし、  
旨む管理コス  
々に増加す

より洗浄力も臭低減も期  
製品の仕事が毎分20kg  
格は約30kg  
動車工場を歩いていく。  
関西オ-

の向上や悪  
待であると

の協力を依頼し、19下期に共同研究を実施。デジタル制御技術を取り入れたが、液体シミュレーションによる新しい流体設計の検討、実証試験などを行い、今回の新幹線型発を実現した。

## 開をのに流術美年

## 切削液 管理コスト半減

自白欄

動車工場 宮山電機  
20.1.10

| 関西オートマチック洗浄機 | 関西オートマチック洗浄機 |
|--------------|--------------|
| 開発費          | も運賃          |
| 場など          | 滅失である        |
| 需用           | 開発費          |
| 発表し          | 一ム一<br>まれる   |
| 来より          | の不純          |

## 再利用装置 メ機器と開発

従来はフィルターなどを用いて不純物を過する方法が一般的だったが、この装置により、フィルタの長寿命化や濾過回数の削減などが図られる。参考価値は約300万円。